ー高良興生院(こうらこうせいいん)・森田療法関連資料保存会ー

2018年春の心の健康講座

森田療法の考え方、すなわち森田正馬の人間観が自己教育にも役立つと言われています。今回は教育面・生活に焦点を当てたテーマとなりました。とくに自助グループの誕生に至った「流れ」についての2者の共演も興味が湧くところです。

つきましては、この機会に当事者とご家族だけでなく、教育に関心をお持ちの一般の方がたにも参加いただきたくご案内いたします。また、これが新しい出会いの場になれば幸です。（※申込みは不要です）

――［ 全2回 ］――

【第一回目】 4月11日(水)13:30～15:30（質疑応答を含む）

テーマ **『生活に活かす森田療法』**

講師 増野 肇先生（ましの・はじめ＝精神科医、ルーテル学院大学名誉教授）

千葉大学文理学部英米文学科卒、東京慈恵会医科大学卒。同大学院修了、栃木県精神衛生センター所長、宇都宮大学教育学部教授、日本女子大学教授、ルーテル学院大学教授、日本心理学会理事長を務めた。1999 年日本芸術療法学会賞受賞。主な著書「サイコドラマのすすめ方」1990 年、金剛出版。「森田療法と心の自然治癒力―森田式カウンセリングの新展開―」2001 年、白揚社。

【第二回目】 5月13日(日)13:30～15:30（質疑応答を含む）

全体のテーマ**『社会教育と森田療法の合流―下村湖人らから水谷啓二へ』**

①『前史としての社会教育の流れ』

講師 岡本 重慶先生（おかもと・しげよし＝元・三聖病院勤務医、京都森田療法研究所）

1965 年京都大学医学部卒。1984 年～1985 年サンタンヌ病院・パリ心身医学研究所に文部省在外研究員として留学。いくつかの病院勤務を経た後、1996 年兵庫県立姫路短期大学名誉教授。1996 年～2008 年佛教大学教育学部教授（大学院で森田療法を講じる。2012 年から京都森田療法研究所を主宰。1974 年から約 40 年間三聖病院非常勤医師として禅的な森田療法に従事。近著に『忘れられた森田療法』(2015 年創元社)

②『社会教育の流れから生まれた自助グループ「生活の発見会」』

講師 比嘉 千賀先生（ひが・ちか＝精神科医、ひがメンタルクリニック院長）

東京慈恵会医科大学卒業後、精神医学講座で研修。1971 年～1987 年復光会総武病院に常勤勤務、同時に社会精神医学研究所に所属し、後に同研究所副所長となる。1987 年～1994 年栃木県精神保健センター所長。1994 年「ひがメンタルクリニック」開業。主な著書（いずれも分担執筆）『アルコール依存症』(有斐閣選書)、『森田療法』(ミネルヴァ書房)。第 23 回森田正馬賞を受賞（2016 年）。

■会 場 社会福祉法人かがやき会 **就労センター「街(まち)」** 研修室 ※案内図および「森田療法とは？」裏面参照

〒161-0032 東京都新宿区中落合１－６－２１ ※1 階がスワン・ベーカリー&喫茶カフェタウン

【最寄駅】西武新宿線「下落合駅」または「中井駅」から徒歩６分。都営大江戸線「中井駅」から徒歩８分

■定 員 各回50名 【申込み不要】

■参加費 各回1，000円（ただし、保存会会員は無料。※当日の入会も受付けます。年会費 3，000 円）

■問合せ 保存会事務局（就労センター「街」内） ただし、火・水・金曜１０時～１７時。 担当（足立）

☎０３－３９５２－９９７５、 Eメール info@hozonkai.net

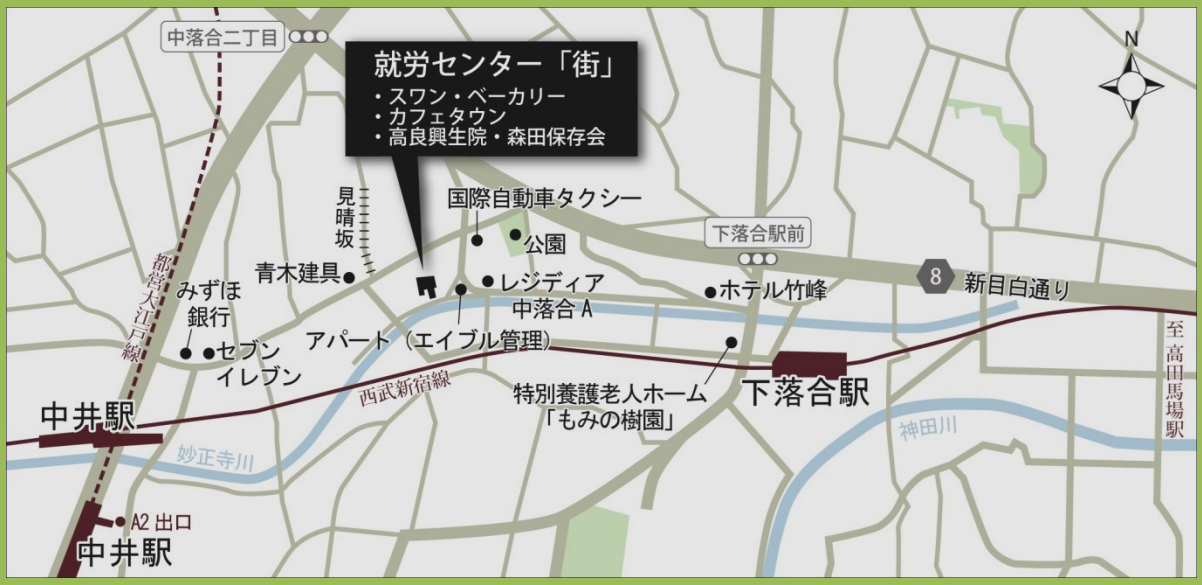
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼ http://www.hozonkai.net/ 森田保存会で検索

・主催 **高良興生院・森田療法関連資料保存会**

・後援 公益財団法人 **メンタルヘルス岡本記念財団**

【ご注意】　会場の建物には、目立つ看板がなく大変分かりづらいので、余裕をもってお出かけ下さい。特に夜間はご注意を！

社会福祉法人かがやき会　就労センター「街（まち）」への案内図



《　森　田　療　法　と　は　？　》

森田療法とは、西暦１９２０年頃、森田正馬（もりた・しょうま＝元・慈恵医大名誉教授）**が生み出した、わが国が世界に誇るべき神経症の治療法である。**

それは、「とらわれの機制」（神経症的葛藤）**を臥褥**（がじょく）**・作業・日記指導・読書などを用いて段階的に打破し、「あるがままの状態」**（創造的で調和のある健康状態）**を体得させようとするものである。**

高良武久先生は、森田正馬の第一の高弟で、５０余年にわたりこの地（東京都新宿区中落合）**で高良興生院を開設し、森田療法を実施されていた。**　※パンフレット『森田療法とは』から抜粋しました。

《高良興生院・森田療法関連資料保存会とは？》

出来事	森田正馬年表	高良武久年表
1997（平成９） 生活支援センター「まど」認可		高良興生院の本館と土地が遺族により社会福祉法人かがやき会に寄付される
1998（平成 10） 就労センター事業開始		遺族により「高良武久詩集」が思潮社から出版される
1999（平成 11）		高良武久・森田資料保存会結成 （※その後、「高良興生院・森田療法関連資料保存会」に名称変更）
2000（平成 12） 通所授産施設　就労センター「街」開所		就労センター「街」内の図書資料室に、高良興生院と森田療法関連資料を保存、公開する

《図書資料室の保存資料、蔵書》

就労センター「街」２階にある資料室には、森田療法関係、高良興生院関係の様々な図書および資料が展示、保存されています。

なお、蔵書の特色としては、森田療法そのものについての著作のみでなく、森田療法を生みだした背景にある思想家の著作、森田療法が成立した時代の精神医学的な雑誌などをつとめて収集していることです。

《保存されている主な蔵書》

■森田正馬全集・全７巻（白揚社）　**■その他・森田正馬著の単行本**　**■高良武久著作集・全７巻**（白揚社）
■その他・高良武久の主要著作単行本　**■呉秀三・主要著作**（精神医学神経学古典刊行会）　**■大原健士郎・主要著作単行本**
■岩井寛・主要著作単行本　**■近藤章久・主要著作単行本**　**■水谷啓二・主要著作単行本**　**■鈴木知準・主要著作単行本**
■長谷川洋三・主要著作単行本
■雑誌「神経質」全巻（神経質研究会編）**1930 年発刊～1935 年、**森田正馬が自らの治療法を普及していくために発刊した定期刊行物。
■復刻版「変態心理」（不二出版）　**■井上円了「妖怪学全集」全６巻**（柏書房、東洋大学井上円了記念学術センター編）
■ＤＶＤ**「森田療法ビデオ全集」全５巻**（有限会社ランドスケープ）　■ＤＶＤ**「ヒポクラテスと蓮の花」**（有限会社ランドスケープ）
■森田療法関係診療所の機関誌――「あるがまま」（高良興生院）　**「随境」**（野村章恒医院）　**「今に生きる」**（鈴木知準診療所）
「三省会報」（三聖病院）　■森田療法学習団体**「生活の発見会」の月刊誌など**　（欠巻あり）

（第１刷、2,000 部）